

## 要旨

### テーマセッション「資本市場とダイバーシティ」

(各報告 25 分、各討論 20 分、質疑応答 15 分)

座長：姜理恵（光産業創成大学院大学）

現代社会の様々なシーンで「ダイバーシティ」が重要視されているのは周知の事実である。わが国資本市場の歴史を紐解くと、「日本資本主義の父」と称される渋沢栄一が、女子教育に関わる契機となったのが、1886年の女子教育奨励会創立委員会の立ち上げといわれている。実業家であった渋沢は、経済活動の中に女性の力を活用しようと、その後、積極的に女子教育に取り組んでいくことになる。以来、130余年の時が流れ、日本市場におけるダイバーシティ、ジェンダー、女性活躍推進に関する議論はどのように変化してきたのだろうか。

近年、世界的な ESG 投資の広がりとともに投資家による企業のダイバーシティ経営への注目度は確実に高まっている。本年 6 月に公表された改定コーポレートガバナンス・コードでも、上場企業に対して「多様性の確保」が求められるようになったのは記憶に新しい。また、SDGs の目標 5 に掲げられた「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、今まさに、多くの日本企業が独自の取り組みを始めている。しかし、世界経済フォーラム(2021)のジェンダーギャップ指数が示すとおり、日本は 156 か国中 120 位と世界的に後塵を拝する形になっているのが事実であり、この現実から目を背けることはできない。

そこで、本セッションでは、資本市場の第一線で活躍する投資家・サステナビリティ専門家の方々にご登壇頂き、金融・資本市場参加者が注目するダイバーシティについて報告頂いた後、日本企業がとるべきアクションについて議論を交わしていくものとする。本セッションにおける報告題目・報告者・討論者・その概要は次のとおりである。

第1報告は、林寿和（報告者：ニッセイアセットマネジメント株式会社 ESG 推進部チーフ・アナリスト）・小平龍四郎（討論者：日本経済新聞社 論説委員兼編集委員）による「ESG インテグレーションの文脈で語るダイバーシティの重要性」についてである。ここでは、ESG インテグレーションとは何か、その文脈におけるダイバーシティの重要性について報告して頂き、そもそも「ダイバーシティとは何か？」という本質的な疑問を掘り下げていく。

第2報告は、吉高まり（報告者：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 経営企画部副部長 プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト）・野村佐智代（討論者：創価大学）による「ESG 債とダイバーシティ」についてである。ここでは、コロナ禍における ESG 投資について俯瞰した上で、ESG 債とダイバーシティの関係性について、更には、近年急拡大するジェンダーレンズ投資の現状に迫る。

第3報告は、小野塚恵美（報告者：カタリスト投資顧問株式会社 取締役副社長 COO）・岩田宜子（討論者：ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役）による「取締役会がリードするダイバーシティとは」についてである。ここでは、アクティビストの視点から、DEI 思考とは何か、DEI の意義、なぜ資本市場は DEI を企業に期待するのか、についてご報告頂いた後、取締役会の実効性とダイバーシティについて具体的事例を交えながら、そのあるべき姿について検討していく。

本セッションでは、このような多士済々なメンバーで議論を交わし、資本市場におけるダイバーシティの重要性について理解を深めていくものとする。